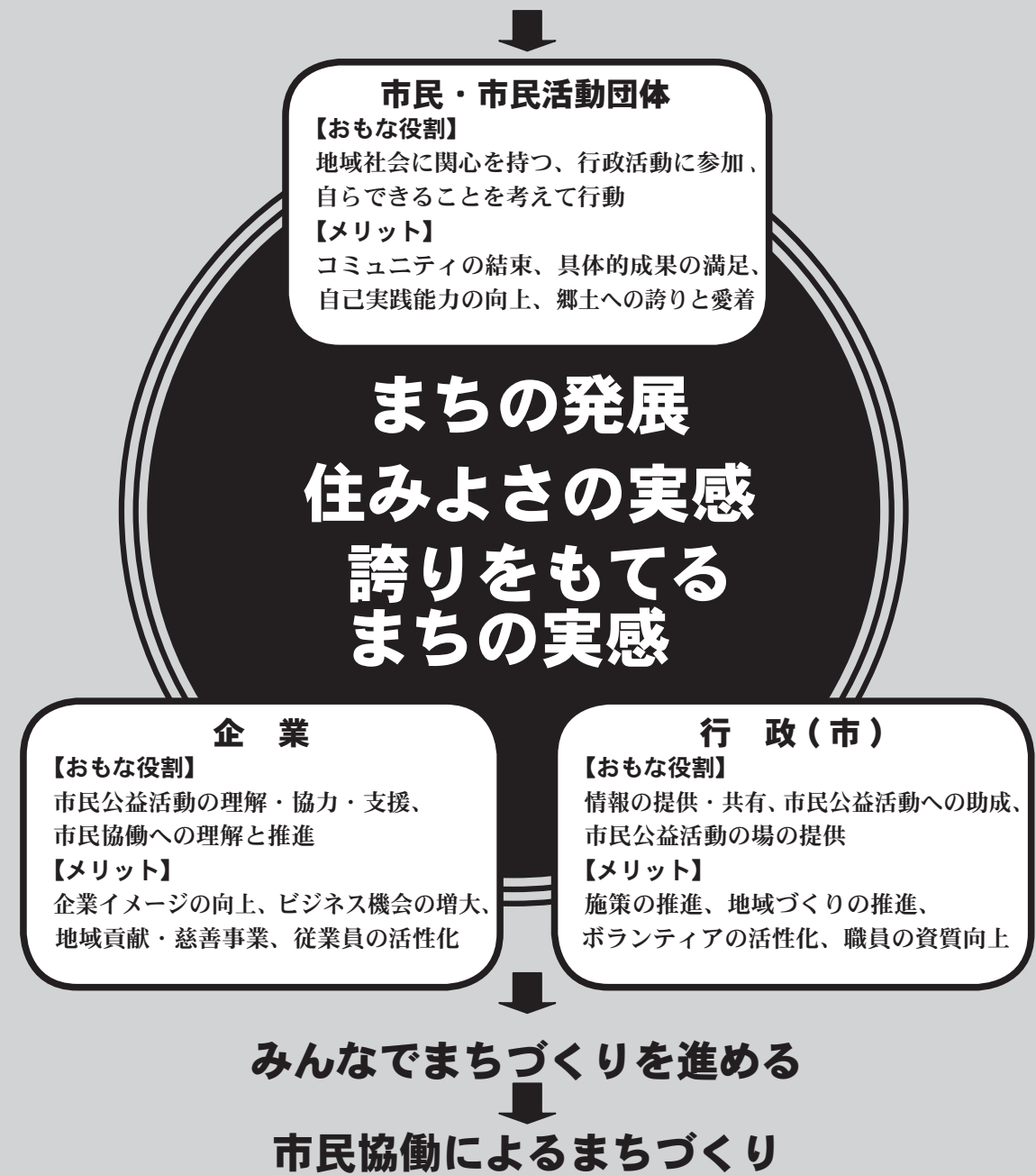


市民協働によるまちづくり

この特集は、企業と市民活動団体の連携による「まちづくり」を進めるために開催した座談会の内容を紹介します。

市民協働のイメージ図 市民・市民活動団体・企業・市が力を合わせる (知恵を出し行動する)



「市民協働」とは、市民、市民活動団体、企業、市など、千歳市に関わる「みんな」で千歳を住み良いまちにするために協力することです。「市民協働のまちづくり」を進めるためには、市民の皆さんが広く「まちづくり」に参加できるよう、市の政策や事業などの計画に携わる機会を充実することや、企業の社会貢献活動を促進することが重要です。

市民や市民活動団体は、市と協働する機会や制度はありますが、企業と協働する機会は、少ないのが現状です。

企業と市民活動団体に対し、「企業と市民活動団体の連携・協力に関するアンケート調査」を実施したところ、双方とも事業の連携に前向きであり、連携にあたっては「市の仲介」を求めていることが分かりました。

このことから、市は、企業と市民活動団体が連携して、まちづくりを進められるような仕組みづくりを検討しています。

企業や市民活動団体は、市の仲介を求めている

企業と市民活動団体の連携・協力に関するアンケート調査

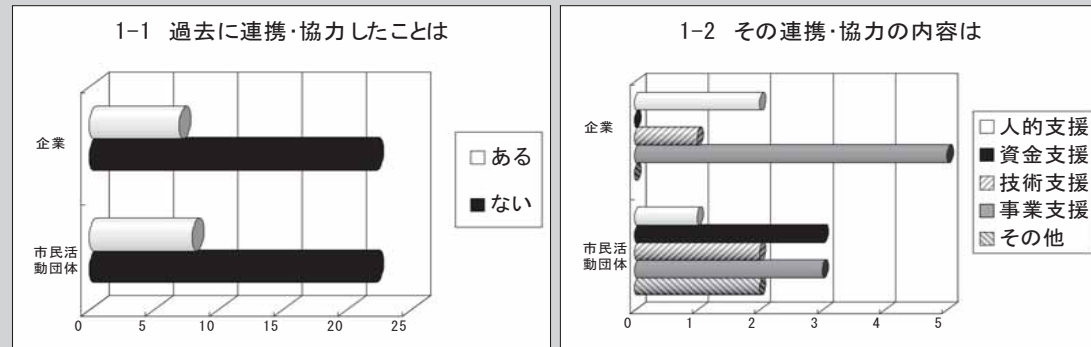
- このアンケートは、「企業と市民活動団体との連携によるまちづくり支援」の検討にあたり、企業・市民活動団体の現状や課題を把握するため、昨年度に実施しました。
- 対象は、工業クラブ会員企業（104社）と市民公益活動登録団体（34団体）です。
- 企業は29社、市民公益活動登録団体は30団体から回答がありました。（※下のグラフは、企業と市民公益活動登録団体の数を表しています。）

1-1 過去に、企業と市民活動団体が連携・協力したことはありますか？

- 企業は、約4社に1社が、市民活動団体は、約4団体に1団体が連携・協力を行っています。

1-2 その連携・協力の内容は、どのようなものですか？

- 企業は、事業支援、人的支援、技術支援の順に多く、市民活動団体は、資金支援・事業支援、技術支援の順に多くなっています。

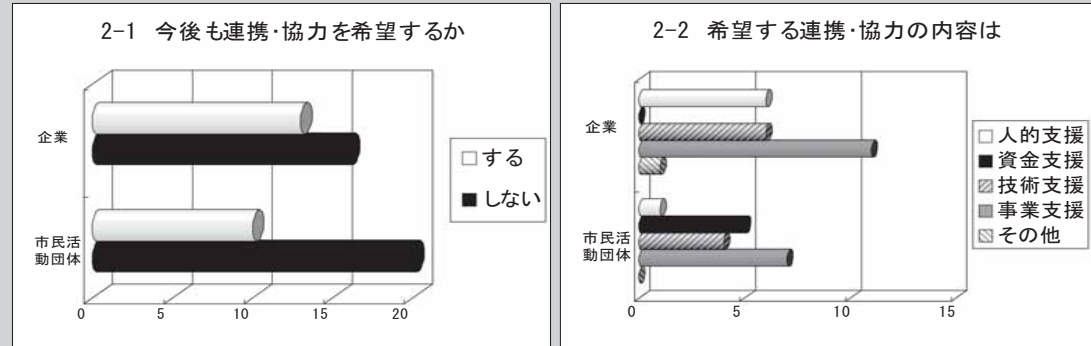


2-1 企業と市民活動団体は、今後も連携・協力を希望しますか？

- 約50%の企業は、市民活動団体との連携・協に興味を持っています。市民活動団体も、約30%が企業との連携・協力を希望しています。

2-2 どのような内容の連携・協力を希望しますか？

- 企業は、事業支援、人的支援・技術支援の順に多く、市民活動団体は、事業支援、資金支援、技術支援の順に多くなっています。また、双方が持つ技術や知識に対する連携を希望しています。

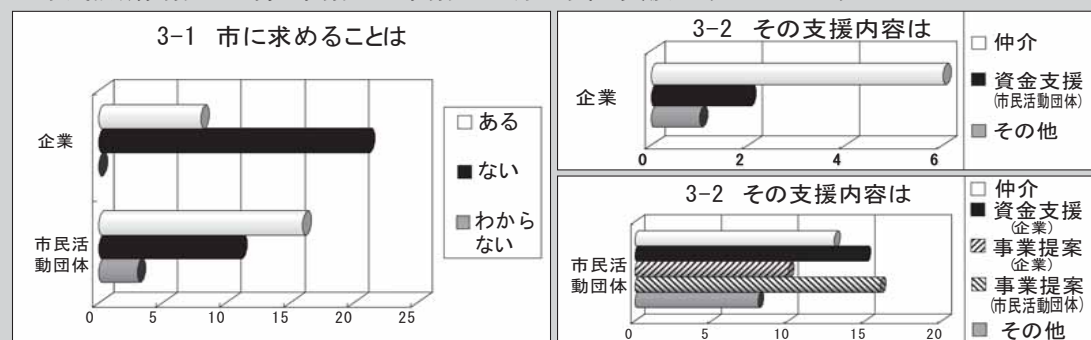


3-1 連携・協力を検討するとき、市に求めることはありますか？

- 企業は、約4社に1社が、市民活動団体は、半数以上が市に対して支援を求めています。

3-2 どのような内容の支援を市に求めていますか？

- 約70%の企業と約20%の市民活動団体は、市に仲介を求めています。企業は、約4社に1社が市民活動団体に対する市の資金支援を求めています。市民活動団体は、約4団体に1団体が企業の資金支援を求めています。





千歳市企画部市民協働推進課
課長 上野美晴
うえのみはる

企業と市民活動団体の連携によるまちづくりを推進するため、企業の方、市民活動団体の方、市の3者による座談会を開催し、それぞれの取り組み状況などについて、意見交換を行いました。

◆上野◆ 市は、市民・市民活動団体、事業者、市のそれぞれが役割分担しながら、市民協働のまちづくりに取り組んでいます。市民協働のまちづくりを進めるうえで

の連携・協力のパターンは、市民活動団体と市、企業と市、市民と市民活動団体などがありますが、企業と市民活動団体の連携は少ないようです。

昨年度、企業と市民活動団体を対象にアンケート調査を実施したところ、両者ともに、事業連携には前向きであり、連携にあたっては、「市の仲介」を望んでいることが分かりました。

市としても、企業と市民活動団体が、知識と経験を生かし、連携してまちづくりに取り組むことで、相乗効果が期待できまし、活動の幅も広がると思います。

まずは、当事者である、企業と市民活動団体の社会貢献活動に関する考えや、連携に際して相手に望むことなどをお話しいただき、「企業と市民活動団体の連携によるまちづくり」について、可能性や効果を探っていきたいと思っています。進行は、ファシリテーター フェローズの篠原さんをお願いします。

◆企業の地域活動◆

◆篠原◆ 企業は、どのような市民活動を応援し、市民活動団体も、どのような企業と連携したいか、それぞれ考えがあるとあります。

デンソーエレクトロニクスは、どのような地域活動に取り組んでいますか？



特定非営利活動法人
ファシリテーター フェローズ
Facilitator Fellows
理事・事務局長
しのはらしんじ
篠原辰二さん
Facilitator は、援助促進者とも表現され、法人の理事・事務局長として、地域福祉事業や地域住民と共に創る福祉のまちづくりを展開している。

コーディネーター



デンソーエレクトロニクス株式会社
経営管理部長
人事総務次長
すいのおよし
梶井宣克さん

同社は、平成21年4月に臨空工業団地で操業開始。車載用の半導体製品を製造し、自動車メーカーに供給している。

になります。

最初は、デンソーエレクトロニクスの名前をたくさんの方の市民の方に知ってもらえるよう、社員と一緒に、市民納涼盆踊り大会に参加しました。

当社の工場は、住宅地に接しているため、操業前から地元町内会の役員会に出席して、地元と信頼関係が生まれるよう業務内容などを説明してきました。

工場が完成したときの見学会でも、最初は、町内会の方に来ていただきました。

当社は自動車部品の製造会社ですが、クリーンルームで半導体センサーを生産しており、来られた方々は、それを見て、イメージと全く違うという感想を持たれた方が多かったです。

◆篠原◆ 千歳ハムは、どのような地域活動に取り組んでいますか？

3つ目は、石狩管内6市（札幌、石狩、江別、北広島、恵庭、千歳）の団体で構成する「市民活動広域ネットワークアクティブ・アクティブ」という連携組織を立ち上げ、フォーラムなど、いろいろな活動を実施しています。

◆篠原◆ 企業同士が繋がって、製品の開発とか、ブランド力を生かした取り組みはありますが、市民活動団体と企業が連携する事例は、あまり聞かないですね。

1000を超える市民活動団体があり、また、104社の工業クラブのメンバーがいる千歳市、そこには、たくさん宝が埋まっている感じがします。

◆上野◆ 企業も市民活動団体も、地域貢献とか、まちづくりに寄与する活動をしたとか、地域住民と交流したい考えはあると聞いています。

連携して活動することで、市が発想できないことや、市民ニーズに合致していることができるかもしれません。

◆篠原◆ 千歳ハムの従業員の方々は、会社では社員としてイベント活動をする一方、また、地域住民として、いろんな活動を行っている方は多いのではないですか。

◆貫田◆ 残念ながら、そうでもないんです。イベントに出店して、いろんな企業の方、他の実行委員会の方と親しくなり、ようやく顔見知りになってきたところです。



北海道千歳ハム(株)
営業部課長
ぬき たひでおみ
貫田秀臣さん

同社は、平成21年10月に第4工業団地で操業開始。食肉販売やハム・ソーセージを主とした食肉加工品の製造・販売をしている。

◆貫田◆ 北海道千歳ハムが操業を開始して、今年で4年目になります。

当初は、直売店をつくって販売しましたが、お客さんが少なく、みんなどうしようかと、いろいろと話し合いました。

そのとき、市民の方と交流ができるよう、イベント会場に行っているいきりやろうということになりました。

イベント会場でチラシをたくさん配ったことや口コミもあって、少しずつ、お客さんが増えていきました。

去年、スカイ・ピア&YOSAKOI祭のとき、20歳の女性に「うちのベコン知ってますか」とたずねたところ「知ってます。ようやく千歳の名前がついた会社で良かったですね。立派な会社なので、誇りに思っています」と言われたときは、ほんとうにうれしかったです。



◆村中◆ 市民活動団体は、基本的には、資金や物、人的な支援を求めています。企業に協賛金をお願いしますとは言にくいですが、言われた企業も、金の無心かと思うだろうし、こちらも思われるんじゃないか、というような気持ちもあります。

市民活動団体も、ギブアンドテイクというか、協賛していただいた企業をPRするとか、イメージアップするとかの気持ちが必要なんじゃないかと、反省も込めて思っています。

市に仲介していただき、イベントを行うと、これだけの人手が足りないのか、人手をだしてくれる企業はいませんか、逆に、企業の方で、こんなイベントをやるので、皆さん遊びに来てくださいうような、それを双方向で周知でき

◆市民活動団体の活動◆

◆篠原◆ 今日は2つの団体の方が来ています。長谷川さんの活動を紹介いただけますか。

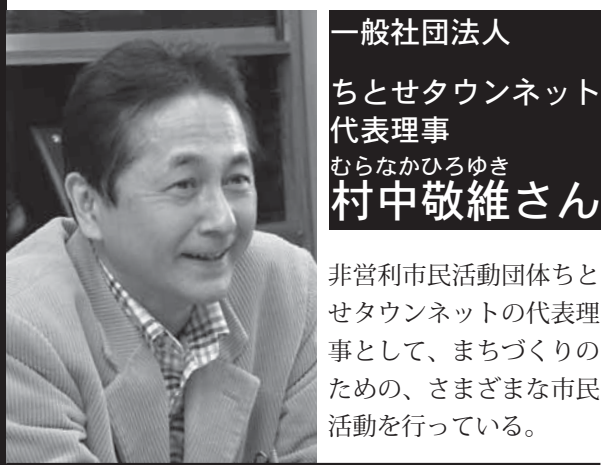
◆長谷川◆ 「青少年のための科学の祭典千歳大会」という実験のイベントを年1回、開催しています。

この大会は、昨年で7回目になります。もともとは、理科離れと言われる中で、学校や企業などの方が出展し、千歳の子どもたちいろいろな実験や観察を体験させたいということから始まりました。

企業からの出展があれば、企業活動の紹介や自社工場で製造している製品の展示など、普段、一般の方が目にしないものを紹介することで、子どもたちや市民が市内の工場や企業のことを知ることのできるよい機会になります。



科学の祭典千歳大会
のための青少年の科学の祭典千歳大会
の委員委員長
はせがわまこと
長谷川誠さん
千歳科学技術大学グローバルシステムデザイン学科の教授として、また、理科実験教室の開催など、地域貢献に取り組む学生チーム「理工工房」の顧問として活躍している。



一般社団法人
ちとせタウンネット
代表理事
むらなかひろゆき
村中敬維さん

非営利市民活動団体ちとせタウンネットの代表理事として、まちづくりのための、さまざまな市民活動を行っている。

最終的には、子どもたちがこの祭典で体験したことに興味をもち、10年後、20年後に、その会社に就職することのきっかけになればと思っています。

◆篠原◆ 村中さんの活動は、いかがですか。

◆村中◆ 平成18年に「地域まちづくりネットワーク」という団体を立ち上げました。途中から「ちとせタウンネット」に名称を変更しています。

おもな活動内容は、大きく3つあります。1つ目は、地域のまちづくり交流会を年に2〜3回開催しています。

2つ目は、駅前の市民ギャラリーにある市民活動交流センター「ミナクル」の運営を、市との協働事業として平成20年から行っています。

るような、そんな仕組みづくりができた
らいいなと思います。

◆篠原◆ 企業にしても、自社だけでな
く、地域と連携した取り組みを考えたと
き、メリットというか、原動力になるも
のがほしいですね。

長谷川さんも、企業の魅力を伝えてい
るわけですね。

◆長谷川◆ そうしたいと思っていま
すが、企業も、社内事情や管理事情
があるので、実際にお願ひするときに
に、こういう声のかけ方をすればいい
のか、むずかしいところがあります。
お金が続んたりするときは、年度や
年間の予算のこともあると思います。
市民活動団体も多いので、一対一
で話をしようとする、ちよつと大変
になるかもしれないですね。別の組織、



別の機関が、第三者の立場で中に入つて
くれると、もう少し、結びつきの機会が
増えると思います。

●イベントなどの取り組み●

◆篠原◆ 企業からすると、一方的な「依
頼」とかではなく、このようなイベント
と一緒にやりませんかという「提案」の
ほうが、動きやすいですか。

◆榎井◆ 千歳に來た当初から工業団地
の清掃として、自社工場周辺の清掃活動
を年に数回行っています。

去年、たまたま支笏湖の清掃があると
いうことを知り、社員に行ける方いません
かと聞いたところ、8月の日曜日でした
が、80人くらいの応募があり、たくさん
の社員が來てくれたのでうれしかったです。
社員も、少しずつですが、ボランティア
に参加しようとする気持ちが芽生えて
きたと感じています。

◆篠原◆ 貫田さんのところは、どのよ
うな感じなら、取り組みやすいですか。

◆貫田◆ イベントなら取り組みやすい
ので、私も参加して、一緒にやっています。
ただ、私が一番恐れているのは、協力
金など、お金が続んでくることです。

例えば、あちらに協力して、こちらに
は協力しないというときを考えると二の
足を踏んでしまいます。それが一番、考
えるところです。

●企業同士の連携は？●

◆篠原◆ 企業同士の連携や協力、企業
同士で地域に貢献しようという取組み
はありますか。

◆貫田◆ 当社は、毎年、創業祭を開催
しています。そのときは、こちらからの発
信で、ほかの企業にも何社か出店しても
らっています。

どうやってたら、お客さんが直売店に來
てくれるかということ、仲良くなった
企業とも話しあつて、みんなで力を合わ
せてやっていこうとしている状況です。
また、当社の商品を、他の企業で販売
してもらったりとか、その逆のときもあ
り、そういうつながりもあります。

◆榎井◆ 千歳に來た当初は、右も左も
分からないので、近隣の企業から、いろ
いろな情報をいただきました。

当社は、従業員が異なる勤務シフト
で仕事をしており、従業員同士が顔を
合わせる機会が少ないので、社外の
イベントなどの参加を通じて、従業
員間のコミュニケーションを図るこ
とが出来るのも大きなメリットです。

●市の感想は？●

◆篠原◆ 上野さん、まちづくりとか、
まちへの貢献みたいなことをやっている
4人のお話を聞いて、どうでしょうか。

◆上野◆ それぞれの立場で、熱心に取
り組んでおられることに感心しました。

ここは市が、縁結びじゃないですけど、
両者に無理のないような、仲介支援の必
要を改めて感じました。

現在、市のホームページで市民公益活
動団体（40団体）を紹介しています。

これを、さらに一歩進めて、両者のま
ちづくりに関する情報を集約し、それを
双方方向に提供するような支援策の検討が
必要かと思っています。

今日は、大変、貴重なお話を聞かせい
ただきましたので、これを機に、ワークグ
ループとして、一緒に支援策の検討やモデ
ル事業も実施できたらいいなと思います。

◆篠原◆ 上野さんにアドバイスがあ
れば、お願いします。

◆長谷川◆ 市による連携の仲介とい
うのは、いいアイデアだと思います。

市民活動団体側からすると、最初の
きっかけづくりの段階で市が中に入つて
もらえると、企業との話し合いもスムー
ズになる可能性があります。

話が進むときでも、進まないときでも、
第三者の立場で仲介してもらえるのは大
きいと思います。

●新たな提案？●

◆村中◆ 個人的な提案があります。

市は、市民提案型の協働事業を推進し
ています。

事業費は、全額、市の補助で、上限は
100万円まで、期間は2年間、公益性
の高いことが条件です。

3年目以降は、段階的に補助金が減少
し、自主事業化をめざすことになります。

例えば、工業クラブなどで、2年間実施
した事業内容を聞いて、これはおもしろそ
うだといった内容のものがあれば、サポー
トするというのは、どうでしょうか。

2年間の実績があるので、比較的判断
がしやすいのではないかと思います。

サポートが可能になれば、市民提案型
の協働事業も伸びて、企業との連携とい
う意味でも、すごく良いと思います。

◆上野◆ アンケート調査でも、市民活
動団体は企業に技術提供を希望しています。

また、効率的な方法があるのなら、ア
ドバイスだけでも良いと思います。

市は、3年目以降もアドバイスや人的
支援などはしますが、この中に企業も参
加いただければ、多方面からの後押しが
できていいと思います。

●近江商人の教え？●

◆篠原◆ 千歳には、いろんな資源
がある中で、企業は、ほんとうに根強
く「売り手よし、買い手よし、世間よ
し」という近江商人の教えにあるとお
り、地域への貢献というものを、何らか
の形で行っていきたいという希望があ
り、それが実現したときには、いろんな
利益につながっていくことがあります。

また、千歳を良いまちにしようと、
色々な活動をされている市民もたくさん
おられます。



◆上野◆ 今日のお話を参考にしなが
ら、企業と市民活動団体の連携を検討さ
せていただき、また、皆さんの意見を聞
かせていただきたいと思っています。

本日は、お忙しい中をご出席いただき
ありがとうございました。

終わりに

ご紹介した内容は、ほんの「コマ」です。
この座談会を通じて、企業と市民活動
団体が互いの認識を新たにすることが多
くありました。

市は「みんなで進める千歳のまちづく
り条例」に基づき、市民、市民活動団体、
事業者、市がそれぞれの役割に沿った市
民協働のまちづくりに取り組んでいます。
皆さんも「住みよいちとせ」のまちづ
くりに参加してみませんか。

市民協働に関する情報は、市のホームペ
ージに掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

お問い合わせ

企画部市民協働推進課
☎(24)0452